

該社ノ自今當加藤ノ事
 該社指針代其關係ノ子ノ必要ナル組合同社ニテヨリ而然其間ニ於テ
 六實應順應也
 會社世間當ノ如許ヲ持テハハシテ思案代ノ組合ニ付ハズ
 其當加藤
 財ノ加藤各ノ部來ニ源テ出來得ル大財源ニ對シテ
 大五十三半一日十二日幾分思案也
 財同ノ加藤
 同ノ加藤自ニモリ幾分盡テハシテ加藤也
 二加藤ノ人員加藤門加藤
 要上其思案ニ加藤ノ得ルモノセハ入ニ加藤ノ加藤也
 或來要品加藤賣加藤也々々々々會社ノ加藤也加藤也加藤也加藤也加藤也
 二人員加藤ノ加藤也加藤也
 加藤ノ加藤也加藤也

財團法人協調會大阪支所

理由。急グ仕事ノ場合ニ適當ナ處置ヲ採ル事が出來ヌ此工場ト
 シテ種類ガ多クテ數量ガ少イ請負ノ性質ヲ持チ得ルモノ
 少シ
 請負スル人仕事ノ程度モ異ル同ジ請負高デ相違スル從テ
 各自ノ收入ニ不平均ガアル
 常雇ト請負トノ二種類ニ對シ事務複雜トナル請負ガ高キ
 故廢止スルト云フ意味計リデナク以上ノ理由モアル

◎ 經過

二月廿三日長尾金藏外三名ハ爭議對策委員ニナツタ
 爭議費用トシテ日給ノ一日分ヲ徵收スル事ニ決シタ。職工ニ「會
 社側ガ提出サレタ條件、諸君ハコレヲヨク研究シテ下サイ」ノヒ
 ラヲ配布シタ
 二月廿四日午后二時爭議對策委員ハ上月工場長ニ面談シタ後嘆願
 書ヲ提出シ廿五日午前九時ニ回答ヲ約シタ